

IV-2. Discussion Paper Series

平成 17 年度に発行したディスカッション・ペーパーは以下の 3 編です。

No.101 飯田浩志:整数ナップサック問題が多項式時間で解ける特殊な場合を定める条件について

概要：整数ナップサック問題は、よく知られた 0-1 ナップサック問題の数ある拡張の一つである。0-1 ナップサック問題の拡張ゆえに、整数ナップサック問題も容易には解けない問題であり、分枝限定法・動的計画法等の一般的な枠組みを用いて解かざるを得ない。しかしその一方で、ある特殊な場合には多項式時間で解けるということも知られている。本稿では、この特殊な場合に焦点を当て、これまでに行われた研究を概観するとともに、いくつかの話題を提供する

No.102 松尾 睦:IT 技術者の熟達化と経験学習

概要：本研究は、高業績者の熟達プロセスを経験という観点から検討したものである。日本を代表する IT 企業 6 社のプロジェクトマネジャーとコンサルタントに対して行ったインタビュー調査に基づき、熟達者の知識・スキル、および熟達を促進した経験を、キャリア段階毎に分析した。分析の結果、職種が異なると、経験学習パターンも異なることが明らかになった。すなわち、プロジェクトマネジャーは、徐々にタスクの難易度を上げるリニア型の学習パターンを取るのに対して、コンサルタントは、中期において難易度の高いタスクをこなす非リニア型の学習パターンを取っていた。こうした違いは、各職種において中核となる知識・スキルの違いから説明された。

No.103 Hajime Itoh & Gary Davies:Product De-listing by Retail Buyers: Relational Antecedents and Consequences

Summery : (著者の意向により Web でのサマリーの公開はありません)